東京	 工業高等	 専門学校	<u> </u>	開講年度	令和02年度 (2	.020年度)	授	 業科目	情報処理			
科目基礎			-			,						
科目番号	-113712	0172				科目区分		専門 / 必	 修			
授業形態		授業				単位の種別と	 単位数	学修単位: 2				
開設学科					対象学年		5					
開設期		前期					2					
教科書/教材 適宜資料を												
担当教員 松﨑 頼人												
到達目標	<u> </u>											
・ソフトウ	エアを中心	いとしたシス	ステム界	発を意識して	て、課題のテーマに	いった効率的な	:アルゴリ	ズムを提案	できること	<u></u>		
・専門的な	(英語文章	こ触れ、今谷	多の研究	に活動での英語	語論文の内容読解への	の足がかりとし	て活かせ	るようにす	ること			
ルーブリ	リック											
理想的			想的な致	到達レベルの[·ベルの目安 最低限の到達レベルの (可)		いの目安 / ジャ	大到達レベルの目安				
 評価項目1 より効 を提案			示された	 :課題に対し ⁻	セニナット 無関に		た課題にす	tして	て、「相二された調度に対するス			
			り効率的	りなアルゴリス	題に対して、 アルゴリズム	少なくと	なくとも実行可能なレベー		提示された課題に対するア ルゴリズムを提案できない			
			従案でる 実装でき	き、プログラミ きる。	アルコリスム ルのアルゴリズムを掛ける。		だ提案で	e Production of the control of the c				
				<u>- 3、</u> 究活動における	 に触れ、英語	1、英語 授業で触れた専門的な		りな英語・				
評価項目2		語	論文の読解能力に活かせ 論文読解への			足がかりにで	については最低限理解でき			専門的な英語をまったく理 解できない。		
出いると				9 බං	きるようにす	<u>ಾ</u>	る。					
	達目標項 -225	は日とのほ	分化									
教育方法	等	1								- " 11 11		
概要		ソフトワ ムの検証	ノエアを すするた	ェ中心としたシ こめの演習を行	システム開発を意識し テラ。各課題は英語 ⁻	ノて、課題のテ で表記しており	ーマに沿っ 、理丁学	った解決策 分野に滴し	(の考察およ た英単語に	Cひ、効率的な 三触れ、専門分	ンルコリズ 野に即した	
1200		英語能力	りの向上	こにも注力する	3.							
		毎回の打るからず	受業では	は適宜資料を配	記布し、授業ごとに活	寅習課題を提示 トにも奴める	する。問題	題文は英語	で提示し、	どのような問	題が出てい	
授業の進め	方・方法	し、より	エルキӌる Ͻ効率的	oここで、等f 内なアルゴリフ	門的な英語能力の向え でいる ではいる でで、 である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	」にひ劣める。 倹討する(原則	グに、謎 として、	_{退い} テーく 実際にプロ	に <u>即した</u>) グラミンク	<i>ル</i> コリスムを ブ実習によって	ロル C 胜台 解答する体	
		裁は取り	らない)	。必要に応じ ニフィードバッ	じて教員が板書など [*]	で課題について	補足を行	う。授業終	了時に課題	夏を提出し、原	則として次	
					シンを11 フ。 るので、積極的に自2	カで問題を解い	てみるこ	 				
注意点		・間違っ	った問題	風については、	問題を再度解きなる	らして理解を深	めるよう	努めること				
		・毎回の	り授業で	で課した課題を	テーマに類似する問題	題を試験に出す	<u>ので、各</u>	テーマにつ	いては必ず	『復習すること	•	
授業計画	1		_									
		週	授業内容					の到達目標				
	1stQ	1週	ガイタ	ダンスおよび詞	課題1の実施					その解答を翻記 ムを道出できる		
		- NE						に対して適切なアルゴリズムを導出できる。 英文から課題の内容およびその解答を翻訳でき、課題				
		2週	課題2の実施					に対して適切なアルゴリズムを導出できる。				
		3週			るプログラミング実	習	課題1,2のアルゴリズムに 語を利用して実装し、実行			ついて、プログラミング言		
			しし	J電算至: 7102)						RACUDIC その解答を翻記		
		4週	課題3	題3の実施						ムを導出できる		
		5週	課題~				英文か	ら課題のア	容および	その解答を翻記	Rでき、課題	
				・シスパピ 題3,4に対するプログラミング実習				に対して適切なアルゴリズムを導出できる。 課題3,4のアルゴリズムについて、プログラミング言				
		6週	課題は	3,4に対する 算室:7102)	/ログフミング美智		課題3, 語を利	・4のアル. 用して実装	コリスムに もし、実行約	ついて、フログ 結果を出力でき	ソフミング言 きる。	
		7週	+ `	<u>: : : : : : : : : : : : : : : : : : : </u>								
.,		8週	中間語	式験								
前期	2ndQ	9週	理題与	 の実施						マを解決するた	こめの効率的	
			DA AZSS					なアルゴリズムの導出 課題の翻訳および課題テーマを解決するための効率的				
		10週	課題6	頭6の実施				翻訳おより		くを解決するん	こめの効率的	
		1.12国	課題5	題5, 6に対するプログラミング実習 電算室 : 7102) 題7の実施			課題5,	6のアル	ゴリズムに	ついて、プロケ	 グラミング言	
		11週	(J電				語を利	語を利用して実装し、実行結果を出力できる。				
		12週	課題7				課題の	課題の翻訳および課題テーマを解決するための効率的 なアルゴリズムの導出				
								課題の翻訳および課題テーマを解決するための効率的				
		13週	課題8の実施				なアル	なアルゴリズムの導出				
		14週	課題7,8に対するプログラミング実(1零管室:7102)			課題7,8のアル		8のアル	ブリズムについて、プログラミング言 し、実行結果を出力できる。			
]電算室:7102) カキでの学習の復習			語を利	用して実装	もし、実行権	結果を出力でき	きる。	
		15週	これまでの学習の復習									
16週 モデルコアカリキュラムの学				物の大型を日極								
	アルリキ		リ子省							7(I)±1 -0.11	松米田	
分類				学習内容 学習内容の到達目標						到達レベル		
専門的能力)専 情報3	系分野	主要なサーバの構築方法を説明できる。 情報通信ネットワークを利用したアプレ					//	4			
せい ルッ形ノ	門工学	1月ギ収え	ドノブギア	ットワーク	情報通信ネットワ- 説明できる。	-クを利用した	アノリケ-	ーションの	作成万法を	4		
評価割合	 ``			l .	12071 000						1	
試験 演習問題 合計												
総合評価割合				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
松口"拌仙哥"口				•	_25 [1]			1100	.00			

基礎的能力	0	0	0
専門的能力	75	25	100
分野横断的能力	0	0	0